

○国立大学法人埼玉大学多文化共修プログラム規程

〔令和 8 年 3 月 26 日〕
規 則 第 5 9 号

(趣旨)

第 1 条 この規程は、国立大学法人埼玉大学学則第 37 条第 2 項の規定に基づき開設する教育プログラム「多文化共修プログラム」（以下「本プログラム」という。）に関し、必要な事項を定める。

(開設)

第 2 条 教育機構は、日本と諸外国の歴史・文化の独自性への関心と共感的理解を持ちつつ、自由と平等の理念に代表される世界共通の普遍的価値に基づいた対話・交渉・協働を実践できるような専門性と教養の双方にわたる高度な知識と語学力や多文化コミュニケーション能力を含む十分なスキルを身に付け、卒業・修了後、職業においても地域社会においても持続的な経済発展と安定的な多文化共生社会の実現に貢献する意思と能力を持つ人材を育成するため、本プログラムを開設するものとする。

(修了要件)

第 3 条 本プログラムは選択とし、修了認定要件単位数を必修科目 1 単位、選択必修科目 4 単位、選択科目 4 単位の合計 9 単位とする。

(授業科目)

第 4 条 本プログラムに関わる開設学部等、授業科目、科目分類、科目区分及び履修方法等は、別表のとおりとする。ただし、年度により授業科目の一部を開講しないことがある。

(単位の算定)

第 5 条 授業科目の単位は、国立大学法人埼玉大学単位修得の認定に関する規則第 3 条の規定に基づき、授業の事前準備学修及び事後展開学修を含めた 45 時間の学修をもって 1 単位とし、授業の方法、教育効果等を考慮して授業科目ごとに算定する。

(修了認定申請)

第 6 条 本プログラムの修了認定を希望する者は、所定の期間内に「多文化共修プログラム」修了認定申請書（別紙様式 1）を学長に提出するものとする。

(修了認定)

第 7 条 学長は、第 3 条に規定する修了要件を満たした者について、多文化共修センター運営会議の議を経て、修了を認定する。

2 前項の規定により修了認定された者には、修了証（別紙様式 2）を授与し、及び国立大学法人埼玉大学におけるデジタル学修歴証明取扱要項第 3 条第 1

号の規定に基づき、デジタル学修歴証明を発行する。

(大学院学生の修了認定)

第8条 前2条の規定は、修了要件単位数を満たさずに学部を卒業し、引き続き埼玉大学大学院に進学した者が大学院在学中に修了認定要件を充足した場合について準用する。

附 則

この規程は、令和8年4月1日から施行する。

別表（第4条関係）

多文化共修プログラム指定科目

本プログラム に おける科目 分類	開設学部等／科目 区 分	授業科目名	単位数	必選別
必修科目	教育機構 ／ 教養・スキル・リテラシー 科目 英語スキル教育科目 群 目	英語 I (Japanese Studies in Global C o n t e x t s)	1	必修
選択必修科目 〈地域共創科目 群〉	教育機構 ／ 教養・スキル・リテラシー 科目 学際領域科目群 目	地域課題としての共生 社会	2	選択 必修
選択必修科目 〈ダイバーシティ科 目 群〉	教育機構 ／ 教養・スキル・リテラシー 科目 AL科目群 目	AL2 (Identity, Intercultural Communication and Global Citizenship)	2	
		AL2 (日本の少子化と外国人受 入 政 策)	2	
		異文化コミュニケーションワーク シ ョ ッ プ	2	
選択必修科目	教養学部 ／ 教養学部専門 科目	AL2 (ダイバーシティ社会 を 作 る)	2	
		AL2 (Workshop in Co-Creating C o m m u n i t y) AL2 (日本語支援を体験し よ う)	2 2	
選択必修科目	教育機構 ／ 教養・スキル・リテラシー 科目 AL科目群	AL1 (Global Studies in Sustainability: The SDG Approach)	1	
		AL2 (Mental Health for Japanese and International Students)	2	

〈レジリエント科目群〉	科目			
	教養学部 ／ 教養学部専門 科目	Development in P r a c t i c e	2	
選 択 科 目 〈人文学科目 群〉	工 学 部 ／ 工 学 部 専 門 科 目	グ ローバル コミュニケー シ ョ ン	2	
	教 育 機 構 ／ 教養・スキル・リテラシー 科 目 A L 科 目 群 科 目	A L 1 (Introduction to African S t u d i e s)	1	選 択
	A L 2 (Introduction to Japanese C u l t u r e)	2		
	教 養 学 部 ／ 教 養 学 部 専 門 科 目	Modern Japanese H i s t o r y	2	
		Seminar in Modern Japanese H i s t o r y	2	
		Pre-modern Japanese H i s t o r y	2	
		Studies in Pre-modern Japanese H i s t o r y I	2	
		Studies in Pre-modern Japanese H i s t o r y II	2	
		Seminar in Japanese Literature and T h e a t r e I	2	
		Seminar in Japanese Literature and T h e a t r e II	2	
		Seminar in Japanese Literature and T h e a t r e III	2	
		Seminar in Japanese Literature and T h e a t r e IV	2	
		Topics in Japanese S t u d i e s I	2	
		Topics in Japanese S t u d i e s II	2	

		Contemporary Art and Media in Australia and Asia I	2
		Contemporary Art and Media in Australia and Asia II	2
		The Traditional Performing Arts in Japan	2
		Edo Culture and the "Bad Places"	2
		An Introduction to Cross Cultural Research and Critical Thinking Skills for Study Abroad	2
選 択 科 目 〈日本語学科目 群〉	教 養 学 部 / 教 養 学 部 専 門 科 目	日 本 語 と X 語 の 音 声 学 入 門	2
		日 本 語 の 誤 用 分 析	2
		日 本 語 の 習 得 研 究 入 門	2
		詩 歌 から 考 える 日 本 語 表 現	2
		戯 曲 から 考 える 日 本 語 表 現	2
選 択 科 目 〈国際関係科目科 目 群〉	教 育 機 構 / 教 養 ・ ス キ ル ・ リ テ ラ シ ー 科 目 A L 科 目 群 科 目	A L 2 (Introduction to International Relations)	2
		Contemporary International Affairs	2
		Communication for Global Leaders	2
		International Relations in East Asia I	2
		International Relations in East Asia II	2
選 択 科 目 〈社会学科目 群〉	教 育 機 構 / 教 養 ・ ス キ ル ・ リ テ ラ シ ー 科 目 A L 科 目 群 科 目	A L 2 (スタンフォード SPICE と学 ぶ 多 様 性)	2
		教 養 学 部 / Urban Geography of Japan	2

	教 養 学 部 専 門 教 科 目		
		Regional Geography of J a p a n	2
		Colloquium in Social G e o g r a p h y I	2
		Seminar in Contemporary Japanese S o c i a l T h e o r y I	2
		Seminar in Contemporary Japanese S o c i a l T h e o r y II	2
		The Japanese Welfare S t a t e	2
選 択 科 目 〈経済・経営学科 目 群 〉	経 済 学 部 / 経 済 学 部 専 門 科 目	Introduction to Global B u s i n e s s	2
		Introduction to Public P o l i c i e s	2
		Introduction to E c o n o m i c s	2
		Introduction to Business S t u d i e s	2
		特殊講義「Marketing Strategy」	2
		特殊講義「Introduction to Modern Supply Chain Management」	2
		S e m i n a r I	1
		S e m i n a r II	1
		S e m i n a r III	1
		S e m i n a r IV	1
		選 択 科 目 〈教育学科目 群 〉	教 育 機 構 / 教 養 ・ ス キ ル ・ リ テ ラ シ ー 科 目 A L 科 目 群 科 目
AL2 (子どもと生きる II) * 1	2		
AL2 (子どもと生きる III) * 2	2		
AL2 (子どもと生きる IV) * 3	2		
AL2 (Workshop in Drawing) a	2		
AL2 (Workshop in Drawing) b	2		

	教 養 学 部 ／ 教 養 学 部 専 門 教 科 目	Comparative Higher E d u c a t i o n	2
	教 育 学 部 ／ 教 育 学 部 専 門 教 科 目	多 文 化 共 修 入 門	2
選 択 科 目 〈 理 工 学 科 目 群 〉	教 育 機 構 ／ 教 養 ・ ス キ ル ・ リ テ ラ シ ー 科 目 A L 科 目 群 科 目	A L 2 (COIL+海外短期研修：タイ・カ セ サ ー ト 大 学)	2
		A L 2 (COIL+海外短期研修：オーストラリア・ メ ル ボ ル ソ ン I 科 大 学)	
	理 学 部 ／ 理 学 部 専 門 科 目	【 H i S E P 】 入 門 セ ミ ナ ー	2
		【 H i S E P 】 基 礎 セ ミ ナ ー	2
	工 学 部 ／ 工 学 部 専 門 科 目	科 語 学 技 術 英	2

この表の中から必修1単位、選択必修4単位、選択4単位含め、9単位以上修得すること。ただし、授業科目によっては所属学部等による履修制限があるためシラバスを確認すること。

なお、履修案内において示す英語 I 選択科目の履修条件を満たす学生は、英語 I (Japanese Studies in Global Contexts) の履修に代えて、英語 I 選択科目の履修により本プログラムの修了認定要件単位に含めることができる。ただし、英語 I 選択科目のうち Basic English はこの特例の対象外とする。

- * 1 「A L 2 (子どもと生きるⅠ)」を修得していなければ履修できない。
- * 2 「A L 2 (子どもと生きるⅡ)」を修得していなければ履修できない。
- * 3 「A L 2 (子どもと生きるⅢ)」を修得していなければ履修できない。

別紙様式1（第6条関係）

「多文化共修プログラム」修了認定申請書

埼玉大学長 殿

別添成績証明書のとおり、「多文化共修プログラム」の修了認定要件である必修科目1単位、選択必修科目4単位、選択科目4単位を修得しましたので、修了の認定を申請します。

年 月 日

所 属

学籍番号

氏 名

修了証

（ 氏 名 ） 殿
（ 生 年 月 日 ）

あなたは「多文化共修プログラム」を
修了しましたのでここに証します

年 月 日

埼玉大学長

印